

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: コレラ 5 例 (感染地域: インド 4 例、インドネシア 1 例)、細菌性赤痢 3 例 (感染地域: インド 1 例、中国 1 例、エクアドル 1 例)、パラチフス 1 例 (感染地域: インド)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 105 例 (うち有症者 76 例、HUS 4 例) [感染地域: 国内 104 例、スイス 1 例 国内の多い感染地: 群馬県 (27 例)、兵庫県 (8 例)、愛知県 (7 例) 年齢群: 10 歳未満 (52 例)、10 代 (16 例)、20 代 (6 例)、30 代 (16 例)、40 代 (3 例)、50 代 (6 例)、60 代 (1 例)、70 歳以上 (5 例) 血清型・毒素型: O26 VT1 (34 例)、O157 VT1・VT2 (32 例)、O157 VT2 (25 例)、O26 VT1・VT2 (2 例)、O111 VT1 (2 例)、O157 VT1 (2 例)、O6 VT1 (1 例)、O103 VT1 (1 例)、O121 VT2 (1 例)、O153 VT1・VT2 (1 例)、その他/不明 (4 例)]
- 4 類感染症: A 型肝炎 2 例 (感染地域: 東京都 1 例、静岡県 1 例)、つつが虫病 5 例 (感染地域: 青森県 2 例、秋田県 1 例、山形県 1 例、新潟県 1 例)、デング熱 1 例 (感染地域: マレーシア)、日本紅斑熱 2 例 (感染地域: 愛媛県 1 例、鹿児島県 1 例)、マラリア 2 例 (ともに三日熱 感染地域: パプアニューギニア 1 例、インド 1 例)、レジオネラ症 9 例 (すべて肺炎型、うち 1 例死亡) [年齢群: 40 代 2 例、50 代 3 例、60 代 1 例、70 代 3 例 感染地域: 北海道 1 例、宮城県 1 例、山形県 1 例、群馬県 1 例、埼玉県 1 例、静岡県 1 例、愛知県 1 例、広島県 1 例、佐賀県 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 10 例 (すべて腸管アメーバ症) [感染地域: 国内 9 例、不明 1 例 感染経路: 経口 3 例、性的接触 2 例 (異性間 1 例、同性間 1 例)、不明 5 例]、ウイルス性肝炎 2 例 [B 型 1 例 感染経路: 家庭内感染、C 型 1 例 感染経路: 不明]、急性脳炎 2 例 (ともに病原体不明、ともに 30 代)、クリプトスポリジウム症 1 例 (感染地域: インド)、クロイツフェルト・ヤコブ病 3 例 (すべて孤発性 (古典型))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例 (40 代 1 例、80 代 1 例、血清群: A 群 1 例、不明 1 例)、後天性免疫不全症候群 12 例 (無症候 8 例、AIDS 4 例) [感染経路: 性的接触 10 例 (異性間 5 例、同性間 5 例)、注射針 2 例 (感染地域はともに国外) 感染地域: 国内 8 例、ブラジル 1 例、ガーナ 1 例、ガーナ/ナイジェリア 1 例、不明 1 例]、梅毒 9 例 (早期顕症 I 期 4 例、早期顕症 II 期 2 例、晩期顕症 1 例、無症候 2 例)、破傷風 3 例 (20 代 1 例、50 代 1 例、70 代 1 例)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第 22 週以降減少が続いているが、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では沖縄県 (13.1)、青森県 (2.3)、岩手県 (0.9)、長崎県 (0.8) が多い。

小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 66 例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 82% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では奈良県 (2.3)、愛媛県 (2.2)、神奈川県 (2.2)、埼玉県 (1.9) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は 3 週連続で減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では北海道 (2.9)、三重県 (2.8)、秋田県 (2.4)、新潟県 (2.4)、宮崎県 (2.4) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は 21 週以降、減少が続いている。都道府県別では大分県 (9.9)、山口県 (7.2)、福井県 (6.9)、宮崎県 (6.9) が多い。水痘の定点当たり報告数は 3 週連続して減少した。都道府県別では北海道 (2.7)、長野県 (2.7)、福島県 (2.6) が多い。手足口病の定点当たり報告数は第 19 週以降、増加が続いている。都道府県別では福井県 (13.1)、岐阜県 (8.3)、徳島県 (5.8)、愛知県 (5.7) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では鳥取県 (1.5)、山形県 (1.3)、静岡県 (1.2) が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県 (0.06)、岩手県 (0.05)、鹿児島県 (0.05) が多い。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では茨城県 (0.03)、奈良県 (0.03) が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では和歌山県 (11.6)、宮城県 (8.5)、愛媛県 (7.3)、神奈川県 (6.2) が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では茨城県 (0.05)、青森県 (0.05)、千葉県 (0.03)、広島県 (0.03) が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では鹿児島県 (5.3)、新潟県 (3.9)、長野県 (3.2)、山梨県 (3.0) が多い。基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では埼玉県 (2.4)、青森県 (1.8)、愛媛県 (1.8)、大阪府 (1.6) が多い。成人麻しんは、岐阜県より 1 例報告があった。

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
		インフルエンザ	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
(定点当たり)																						
愛媛県	.4		2.2	1.4	5.1	2.1	.9	.6	1.1			7.3	1.5	.3	3.5				1.8			
近県	香川県	.1	.0	1.0	.6	2.3	.8	2.8	.4	.4	.0	3.3	1.8		.7							
	徳島県	.0		.8	1.1	2.1	1.1	5.8	.2	.9		3.3	.7									
	高知県			.9	.8	1.7	1.1	1.2	.2	.8		3.8	.7		1.3					.1		
全国	.3	.0	1.3	1.7	3.5	1.6	1.7	.6	.8	.0	.0	4.2	.0	1.7	.0	1.4	.0	.1	.4	.0	.0	
北海道	.5	.1	1.7	2.9	2.2	2.7	.4	.2	.5			2.6	.0	2.3	.1	1.2						
東北	.5	.0	.6	1.7	3.1	1.9	.4	.7	.7	.0		4.8	.0	1.8		1.0				.6		
関東	.0	.0	1.6	1.7	3.0	1.7	.9	.7	.8	.0	.0	4.6	.0	1.6	.1	2.4			.1	.7		
甲信越	.0	.0	1.3	2.0	3.3	1.7	2.5	.3	.6		.0	4.2	.0	2.5		1.3			.1	.4	.0	
北海道	.1	.0	1.5	1.8	3.1	1.8	5.6	1.0	.9	.0	.0	4.1	.0	1.4	.0	.7		.0	.1	.3	.0	
近畿	.1	.0	1.3	1.6	3.4	1.4	1.6	.5	.6	.0	.0	4.5	.0	1.4	.0	.7		.1	.1	.4	.0	
中国四国	.1	.0	1.0	1.1	4.0	1.3	1.3	.5	.8	.0		4.2	.0	1.5	.0	1.2			.1	.4		
九州沖縄	1.5	.1	1.1	1.3	5.1	1.4	.7	.5	1.0	.0		3.6	1.8	.0	1.7			.0	.1	.3		

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。(7月12日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第27週 (2006.7.3 ~ 7.9)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																				
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ボツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症	
第27週報告数	全 国	5	3		1	105			2				5	1	2				2					9	10	2	2	1	3	2	12					9	3				
	四 国	愛 媛 県					1										1																								
		香 川 県																																				1			
		徳 島 県																																							
		高 知 県																		1																					
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道																						1	1																
		東 北 道					13							4						1					2													1			
		関 東 圏	1	2			46			1															2		3											3	2		
		甲信越北陸	3				4							1	1											1															
		東 海 道					11			1																															
近 畿 圏			1		1	15																				5	1														
中 国 四 国	1				8											1				1																					
九 州 沖 縄					8											1																									
週 推 移	全 国	27週	5	3		105			2				5	1	2				2					9	10	2	2	1	3	2	12					9	3				
		26週	2	4	1	111	1		1					6	1					2				13	12	5				1	16	2			12	3					
		25週	1	5	1	67			4	1	1			15	1	1								7	5	2	3			3	23	2	1		8						
		24週		4		72			4		4			21	1	2								1	6	10	4			1	16	1			13				1		
2006年累積数	全 国	29	212	43	15	984	38		220	13	15	1	1	160	21	12		2		1	29		2	205	352	124	94	8	86	73	629	45	8		312	45		38			
	四 国	愛 媛 県		3			7			3					1										1	1	1		1		5					2					
		香 川 県					8			1		2	1												1	2				1	1					6					
		徳 島 県					14																			3										3	1				
		高 知 県		2	1					2											1					1						3				16					
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道					14	9		12	12				1									1	7	12	4	3		5	6	16	1			6	2				
		東 北 道		5			93	2		9		2		91							2				9	13	8	4		5	4	21			1	19			3		
		関 東 圏	15	87	27	11	266	13		43		5		1	5	9					1			15	62	154	32	36	6	28	26	339	18	4		87	16		14		
		甲信越北陸	7	14	3	1	57	4		20		1			37	2								2	20	9	12	8	1	10	4	30	6	1		11	3		3		
		東 海 道	2	20	4	2	100	3		30	1	2			4	5								1	1	35	44	19	9		7	13	67	2	1		33	2		6	
近 畿 圏		1	70	6	1	181	1		61		3			2	3	1							1	6	44	91	33	11	1	10	14	118	13	1		42	3		6		
中 国 四 国	2	8	1		119	1		31		2	1		10		5								2	19	15	10	10		13	4	23	3			42	7		2			
九 州 沖 縄	2	8	2		154	5		14					11	1	6								9	14	6	13		8	2	15	2			72	12		4				

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.7.12集計)